

# さいがい じしん たいふう 災害〈地震や 台風など〉にあつた みなさんへ

## 0. 避難所〈にげるところ〉に 行きます。

・電気・ガス・水道、トイレなどが使えないときは、近くの避難所に行きます。

避難所は、だれでも入れます。食べ物がもらえます。寝ることができます。

お金は いりません。無料 (0円) です。大切な情報 (お知らせ) もあります。

避難所は、小学校・中学校の体育館や、公民館などです。

場所がわからないときは、近くの 人に 聞いてください。

## 1. 家や 壊れた物の 写真を 撮ります。

・家の壊れたところがわかるように、家の中と外の写真を撮ります。

どこまで水がきましたか? あなたの家の中と  
外の写真を撮ります。

壊れた物 (車や テレビ、冷蔵庫など) も写真を  
撮ります。

あとで、保険や 罹災証明書を もらうときに、  
その 写真を使います。



### ※罹災証明書

家が壊れたとき、市役所で「罹災証明書」をもらいましょう。

市役所の人が、あなたの家がどのくらい壊れたか調べます。

「罹災証明書」があると、生活するための お金を もらったり、借りたり することができます。

税金や、電気・ガス・水道のお金などが安くなります。

「仮設住宅〈無料の家〉」に住むことができます。

新しい在留カードを作ることができます。

「罹災証明書」がもらえるまで、1か月以上かかるかもしれません。

市役所に行って、「罹災証明書」の申し込みを してください。

## 2. 家を 片づける前に 調べます。

### ・電気

地震で、ブレーカー (右の絵を 見てください) が OFF になると、  
危ないです。触らないでください。電気の 会社に 電話します。

わからないときは、近くの 人に 聞きます。

ブレーカー  
げんかん いえ い、ぐち、ちか  
玄関 (家の入り口)の 近くにあります



## ・ガス

家の中でガスのにおいがする（臭い）とき、ガスの会社に電話します。

### 「都市ガス」を使っている人

地震が起きると、ガスが止まります。

ガスメーター（右の絵を見てください）の「復帰ボタン」を押すとガスが使えます。わからないときは、近くの人に聞きます。

### 「プロパンガス」を使っている人

ガスボンベ（右の絵を見てください）が動いていると、危ないです。

ガスの会社に電話します。わからないときは、近くの人に聞きます。

## ・保険の会社などに教えます。

家が壊れたとき、保険に入っている人は、保険の会社に電話します。

家を直すためのお金がもらえるかもしれません。

アパートに住んでいる人は、大家さんに電話します。

家を直す前に、壊れたところの写真を撮ります。

後で、保険の会社や、大家さんなどに写真を見せます。



## 3. 片づけるとき、気をつけます。

### ・けがをしないように気をつけます。

危ないですから、長靴をはきます。ゴム手袋をします。必ずマスクをします。

時々、水などを飲みます。終わったら、手を洗います。

### ・ゴミの捨て方がいつもとちがいます。

車や冷蔵庫など、大きいゴミがたくさんあります。

災害のときは、ゴミを捨てる場所が変わります。

近くの人に、ゴミを捨てる場所と時間を聞きます。

### ・災害ボランティアが片付けを手伝ってくれます。

自分や家族だけで家などを片づけるのは、大変です。

ボランティアが手伝ってくれます。

手伝ってほしいときは、市役所や「社会福祉協議会」に

相談します。お金はかかりません。無料です。

### （▲注意！）

### ・泥棒や悪い人、ウソの情報などに気をつけてください。

SNSなどの情報（お知らせ）は、ウソやまちがいがありません。

おかしいと思ったとき、必ず近くの人に聞いてください。

### ・在留カードやパスポートをなくしたとき

在留カードやパスポートがなくなったら、入国管理局や大使館に連絡します。



くるま れいぞうこ おお  
車や冷蔵庫などの大きいゴミ

かたづ てつだ  
ボランティアが片付けを手伝います

